

バストス週報

第1488号
昭和五十年十一月十日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Redator
Shoho Miyatake
Rua 10 de Novembro 882
C. Post. 112
Fone. 340
BASTOS
E. S. E.
Anual
Cr. #
65.00
Adiant.

温室 46

おいこきぼり

○本題は「おいこきぼりにされた老人」というのが本当である、二十四、五歳から四十歳くらいまでの青年を含む壮年層が移民として伯国に来て以来、健康な身体にものを云わせ、主として農業に打ち込んだ。めくら減法に働いた経験を多くの人がもっているにちがいない。その苦労が順調に報われて経済的に恵まれ、かえりみて悔のない生活を保証している人もあろうが、中には事、こころざしとちがいで、何のためにブラジル三界まで流れ来たのやう、わけのわからぬ辛辣な苦しみに浮沈している人もないわけではない。

○初期の移民に於ては、おおもね糊口をしのぐことに追われ、ポ語の習得する暇がなく、やっと初老に達して、これではならじと感念してみるが、時すでにおおし、覚えるより忘れる方が早く、とても問題にならない。ブラジル語が喋れないばかりにどの位損をしているか、このため置き去りをくったのが吾々一世の一番くやしきであろう。

○ところが、二世三世となると、日本語はできなくとも、できれば史に金棒、それをも適当に駆馳して幅のひろい生活をしているが、かりに日本語は不得手としても、ここで育ち、ここで教育されている強味で、ブラジル社会に充分溶け込むことが出来、字が切りまわす程度の職業では、たよりになるのは自意識があればあるように実社会に踏み出すことが出来、才能を發揮する機会に恵まれるのである。一世の習得を怠ることは出来ぬ。親に生活の負担を背負って貰い、自身学業に打ち込んで一人前の社会人として発定して行けるのだから、よほどの愚者でない限り、ブラジル人として肩を並らべ堂々と世渡り出来るのは、親という土台があったからである。ここで生れて下級な生活から抜け出ることの出来ぬものは、よほどの落伍者であろう。

○社会的な地位は占めなくても、刺戟を維持して營農をしている階級は一番かたい。彼らは充たポ語が出来なくとも、多野の使用人を駆使して世渡りをした移民の成功者といえるだろう。

都市に出て商工業に携った一世も可なり多く、農業に見切りをつけて、自個の商才にたよった相であるが、これはテンから切りまで階級がある。トマテ一佃売って商買たし、羽瀬、遠藤といった大貿易

毎度、ありがとうございます
御宿泊と御食事に
御始礼披露宴とごの御仕出しに
御家族つれの楽しいお食事に
御宴会、御会食、御商談に
日本食とブラジル料理
毎木曜日は当店自慢のウェンジャーマーダ
バストス名物製料理

HOTEL PRIMAVERA

ホテルプリマヴェーラ

食堂 森川 悠心

電話 九二番
郵函 六〇番



高に至る迄、このくわい幅のある階級はないだろう。大きくなれば使用人も多く雇い、ポ語の充分な者達を一概に立てて用を弁することも可能だが、ひとり切りまわす程度の職業では、たよりになるのは自意識があればあるように実社会に踏み出すことが出来、才能を發揮する機会に恵まれるのである。一世の習得を怠ることは出来ぬ。

私の末弟は渡伯三、四年でポ語をマスターして、それは二十歳当時の若さか何としてでもビッパリ合格の条件となつてゐるように思う。それに判裁されて、バストスの初期時代と中期に同志とポ語を習い、モブアル校にも参加したが、筆者は遂に拘にならなかつた。こういう筆者のようなケースの老人が大半を占めているのではあるまいか。ことにバストスの如き、ポ語が判らなければ、それでも通用する関係上、ポ語を習得せず押し通す地域もあるが、ブラジル広しといえども、こんな日本人的なフロンティアは外にどうさうにはあるまい。

○今日、日系老人諸君の「おいこきぼり」にされた原因の最大なるものは、ポ語に弱いことである。自己の意志表示が日本語なら出来るが、ポ語ではできない。乱暴な方法では出来るが紳士的にはでき

きない。もし流暢なホ語が出来たら、日本的な常識の基本の上に立って、どれほど愉快に老後の社交をもっと幅広いものにする事が出来たであろう。

○「おいてきぼり」にされた老人には、ホ語の問題の外にお金の問題もある。取り残された老人であるから、勿論希望があるわけでもなし、夢のある者もなし、楽しみのあるわけでもなし、その上金がないとすれば、あとに何がのこるだろうか、只、生きていくのにすぎないではないか。

○専末の志士に、林子平と云う人があった。「親なし妻なし板木なし、金もなければ死にたくもなし」と、三十一文字に己れの心境を托し、六無斎と号したという。そして僅か五十六歳にして寛永五年に没している。彼の「三国通覽図鑑」「海国兵談」などの著述があり、国防について卓見をもっていたが、幕府の忌諱に触れて禁錮され、版木は悉く没収されてしまった。これでは夢も希望も、ふっとんごしまつのはあたりまえだ。今日日の云う此の政治犯ソ連のソルジェニツィンみたいな存在であった。もし彼が明治時代に生きていたら、一とかどの政治家か、高級役人になれたであろうが、五十六歳の若さで悶死したのはコイタードである。林子平の例は「老人おいてきぼり」とはちかうけれど、夢と希望と金のない生活は堪えがたい一例になると思う。

○バストスの老人で、今少しく生命を藉しておきたかったのは、駒山(63)満部(55)氏くらいなもので、外にはそうざらにはないものだ。バストスの為になつた人、功績のあつた人、いろいろ惜しまれる人は多いが、何れも恰度よく死んでいる。いわば死期を得ているわけだが、惜まれて長逝することこそ人生の興義であると思うのである。

○しかし高令至福は天寿の正巻である。老人はすべてからく「おいてきぼり」にされないように、家族に愛され、世間の師表として尊敬されるように心がけたい。銀行や市役所、警察署のアヒゾウくらい迫はたとえ字引を引いても判読するように努めたいものだ。孫に笑われてもなんのその八十の手習いである。

○一応は日本に帰られたが、ブラツルの方が住みよくなまねをせず、票決にはたとえ破れても堂々たる反分八十五歳と思われ、年寄りのホ語とは思われぬ程達者で、その点さすが南銀の生みの親、「年をとらぬ老人として、吾々の最も尊敬する大先輩、若者の方が「おいてきぼり」をくっけしてしまひそうた。

完

糸音



これが RACÃO DUTRA の特徴!!

高度の経済効率
安定度の高い配合
嚴重なる品質管理

皆さんの鶏の健康を守り、より多き利潤を生み出す飼料として、ラッソン、ツットラ株式会社ではあらゆる技術を駆使しておられます。



RACÃO DUTRA

前山商店飼料部

養鶏飼料販売部員

佐藤 豊
木口 常治
藤武 良郎

右の販売部員が参上の節はよろしくお願ひ申しあげます。

大臣の失言

自民党三木内閣の仮谷建設相が青森の政壇演説で「議会での答弁とろが……」とやって野党に失言を根えられ、さゆうさゆうやられてる。

仮谷建設相の志趣では「この問題はすこぶる重大であるから」といったつもりであろうが、野党の方では国会を侮辱したものと、かかると大臣は免職せよと政府に迫り、処置を講じなければ国会の審議一切をホイコットすると言うのである。

昨年未の議会にも野党は議会を空転させ、政府案を審議未了に追いやった。二、三年大臣の失言がなと思つたら、今度やっちゃった。

野党もこんな言葉のシリにからみつくようなケチをせず、票決にはたとえ破れても堂々たる反分八十五歳と思われ、年寄りのホ語とは思われぬ程達者で、その点さすが南銀の生みの親、「年をとらぬ老人として、吾々の最も尊敬する大先輩、若者の方が「おいてきぼり」をくっけしてしまひそうた。そのための国会を空転させ、わざわざ招集した臨時

議会を又々日延べせねばならぬ、フケイサイな事態に追いやり、しかも彼自身には「申わけなかつた」の一言も表題してない。

○野党となると、どうしても致に於いて真党に押されるので、少々馬鹿くさくさでも諦めるところは詩のとおけという作戦に出るのだから、揚定をとられぬよう、閣員に気をつけねばならぬ。昔から政界のケンカは、天下国家を背景にしたやくごもどきの色合のつよいものであったが、昨今のケンカはスケールが小さすぎるようだ。

日本は今、洋流の瀬戸際ではないか。小ゼリ合ひなんかの時ではあるまい。

米建国二百年祭

何を贈ろう

○来年七月四日、アメリカは建国二百年祭を迎え、すばらしい式典が挙げられるだろう。ニクソン前大統領は、その当主として様配をみることを生涯の米手と考えて、大統領職に止とまることに必死であったというが、武運つたなく、ウォーターゲートの水流に押し流されてしまった。

○ところで世界各国から思い思いのプレゼントが贈られることだろうが、日本では昨年十月フォード大統領を国賓として迎え、今年十月天皇皇后両陛下が訪米され、大変な親善外交を果された関係もあるもので、何かすばらしいプレゼントをしたいものと、三木首相も頭を悩まし、第一回相談会を七月十七日八氏を招いて協議した。

○麻生良方(評論家)(右八氏外)日本特有のチマ、ボカ、い、松村梅屋龍三郎作がいい、○株谷要(東女大教授)奨学金を贈って知日学者養成につとめる、○赤塚行雄(評論家)博覧場を贈って東洋の理想を誕生させる。

○枝川公一(評論家)アメリカの主婦に味噌や納豆の製法を伝授して、保存食の道を教えたい。

○山崎正和(劇作家)米中西部に大きな教務物倉庫を贈るとよい。

○森英美(デザイナー)不況撃退の女神、デザイナー一上を上げたい。

アメリカ大陸改造論、アメリカ新幹線。○田口憲一(評論家)阿波おどりと東屋音頭、各百人づつ、ワシントンの外全米をまわる。

○神井林二郎(評論家)アメリカ大学に日不研究学部新設寄附。

ブラジルに最初の足跡を印した人達

(三十八回)

故 鈴木南樹翁の遺著から

清二郎も、成程女中頭の問題はあったが、結婚してしまえばそれで万事解消で、責任を果した清二郎の謹慎が認められ勘当お許しとなった。同時に山県は、「少し米国でも見学して来い」と清二郎を北米に送った。ここから山県の人並みでない偉い点である。

北米で清二郎は遊び半分の勉強をしている所へ、これも兄の山県から派遣された石橋直三郎を迎えた。根室に居る頃は妙にどこか不慣れたと思っていた。

整体術とは

読んで字の如く、体を整える方法です。頭のこ、ぺんから、足の爪先まで血の巡還をよくする術であります。

○頭痛・りょうまろ。神経痛・不眠症・足腰の痛み・ペンソク・肩のこり・めまい・立ちくらみ等、血の巡還から来る病氣一切を全快します。おためしください。

榎はやの

電話 三六〇番

果樹園に成功の秘訣

生活の安定に備えて果樹栽培が盛んになりつつあります。苗木は、農務省公認の森元苗木本舗で御相談下さい。苗木の良不が成功不成功を決定します。

果樹苗一切、庭園用、植林用、等苗木苗一切。ピソソソ巡廻して居ります。改定しく願います。

森元苗木本舗

電話 二一九番

FLORA BASTOS
I. MORIMOTO & FILHOS
Rua Duque de Caxias 524-F LIDA.
C. Post. 171 Fone 29 BASTOS S.P.

が、親しむに従つて味の出る性格が気に入った。妹のこまごまに失受するなど、清七郎のう見れば馬鹿々々しい程然前のある直三郎であつた。彼つが生涯共に山県かつ歸れて、鍾南流の鉱山に手を出すに至つたのは北米に於ける支路が因をなしたものであつた。清七郎は欧州大戦の景気に當つて二千万円の船成金と云われた。フラルに逃げた兄山県に資金を貸したのも定三郎でなく清七郎だと云われている。大正三年雲海丸(清七郎所有船)が一千五百人の同胞を乗せて神戸三島航したるに先行して、清七郎は政本渡邊の船運フラルの兄の山県を訪れた。本邦海外発展史には第二雲海丸の上に単に三月と書いて居り、船泊した日付が、神戸出帆した日付が解らないが、海興の言明によれば、五月七日サントスに着いたということである。

清七郎夫妻はラルゴ、パトリアルカの元マツピンの所にあつた(その頃にはラルゴなどなかつた)ホテル、ロテッセリーに宿つた。五月といえは聖州では最も気候のよい、桃色のパイネ、ラの咲く時である。清七郎夫妻は秋晴のオゾンを満喫しつつ、自己の持船雲海丸の入港を待つて居る成金振りは大変な評判であつた。そして此の時の夫人は仲々の美人であつたが、彼のマムハラバの文中頭をした女性ではなかつた。

(九)

如上の記述をよめば、大体山県経営の事業の特殊的な内受が大略了解されるだらうと思つた。山県倒壊の原因は幾度もくり返したように、日露戦後のパニックにあることは公知の事実であるが、一つそれは山県が単なる祥金宗の徒でなかつたということである。彼は金を蓄積するために事業を経営するといふよりも、むしろ事業そのものに興味をもち、金次第中村清七郎、岩永安固の三人を北米に送学せしめた二義的なものに過ぎなかつた。従つて金は蓄めるが如き、色々な内情があつたにせよ、彼から見れば人、それは彼の描いて居る理想と云うと弊弊がある物を鑑別して大いに用いたための将来に備えたことかも知れないが、つまり計画を実行する手段に過ぎなかつたのである。それから根室町に三年で修業する中程なかつたのである。早くから南米に着眼して、ペル度の「根室実習学校」なるものを創立し、北海道開拓に適合する人物を養成を主眼とする教育を施した。たなうば百万円を握つて南米に行くことと云つていた如く、彼は恰も豊臣秀吉が支那攻略を心に描いた如く、南米に新日本を立ち立てようといふ夢を持つて居た。石橋恒四郎の話であるが、東京で或日山県に連れられ、高橋恒四郎の話を聞いたが、その軍人が傍の人には、

「こういう男に金を持たして見たい。金さえあれば、どんなことを仕出かすか解らない加味を持つて居る。と話して居るのを立ち聞きたと云うことである。山県は堪かにどういふ一面がある。金を儲ける目

住宅地譲ります

ルア・マレーシャル・フロリアーノ 三五八番地
宅地面積 十八メートル半 × 四十メートル
木造住宅四軒
場所 新南米銀行の後方
住宅街最良の場所

VENDE-SE CASA

シチオの方で学生の子供さんをおもちの方なら、一軒を宿舍に使用三軒を貸し、収入を得ることも出来ませう
値段 十五万クルペーロ又
御希望の方は、サウ・テ区
沖山 まで
御来車下さい

手段を選ばないといふ非難は多少ないが、しかし彼の心境を叩けば、大西郷の所謂「世士の毀譽軽きこと塵に似たり」である。ちと大袈裟に云うと彼の事業は天下国家のためであつた。山県はいくら明治十二年といふ云え、陸軍の学校に入り試験に落第する程であるから、彼自身の教育程度は知れたものであつたらしいが、石橋直三郎、岩永安固の三人を北米に送学せしめたよりも、むしろ事業そのものに興味をもち、金次第中村清七郎、岩永安固の三人を北米に送学せしめた二義的なものに過ぎなかつた。従つて金は蓄めるが如き、色々な内情があつたにせよ、彼から見れば人、それは彼の描いて居る理想と云うと弊弊がある物を鑑別して大いに用いたための将来に備えたことかも知れないが、つまり計画を実行する手段に過ぎなかつたのである。それから根室町に三年で修業する中程なかつたのである。早くから南米に着眼して、ペル度の「根室実習学校」なるものを創立し、北海道開拓に適合する人物を養成を主眼とする教育を施した。たなうば百万円を握つて南米に行くことと云つていた如く、彼は恰も豊臣秀吉が支那攻略を心に描いた如く、南米に新日本を立ち立てようといふ夢を持つて居た。石橋恒四郎の話であるが、東京で或日山県に連れられ、高橋恒四郎の話を聞いたが、その軍人が傍の人には、

此の根室実習学校は、後に根室商業学校となつて北海道庁経営に移されたが、創立當時の校舍建築費は全部彼の負担であつたし、月々の経営赤字を埋めろため、彼の手から少くとも三百円を下らない金が支出されて居た。明治三十年頃の三百円である。

彼の経済が示したほど豊かになかった時代に進んでの
こういふ社会事業に金を投げ出した彼は単なる商人
でなかつた事が解る。

彼は有望な青年だと見ると、よく金を出して学校書に就いてこの感懐と符節を合したものがあつた。私も
にやつた。他人から紹介された場合でも、教育費だ
始の此の「埋れ行く拓人の足跡」のはしがきに一言
というとし惜しみをしなかつた。社会事業だと云
つて駆り取られた金も少くなかつたが、彼は、それ
がばれた時で、

「そうか、そうか、アハハハ、」
と只笑つていた。彼は金を取ることも嫌いでなかつた代り、出した後にそれに對しこれ恩恵をこ
ぼす様なことがなかつた。

金は天下の廻り物である。くるぐる廻つていろ内
に金は金だけの効力を発揮する。それでよいの
。是が彼の哲学である。こういふ哲学を持つてい
たということも、又彼の失敗の原因の一つであつた。

(十)

山県の様な人物を書くには一冊の単行本も尙定れ
りとしないうが、ブラジルに於いて先ず第一に
感ずる困難は資料を得ることである。進んで
提供してくれる様な特志家のないばかりでなく、返
事も出してくれない人が多い。

今日迄ブラジルの同胞に關して記述したものが必
す少しとしないが、その多くは現状を土台として、
あの人はこうもあらう。ああもあらうと云う、い
位な自己の想像を土台として、如何にも事実に
書いて杜撰極まるものにあつたれば、何かためにす
るものである。私とて至極平凡な人間である以上、
記憶違ひもあらうし、はき違ひも少くないであらう
ことは当然なことである。しかし下う、私のこの記
事を書く意志は、何とかして正しいブラジルに於け
る人本人の印した足跡を書き残したいというにある。

水野広徳は中央公論に、名将論を書いていたが、
「歴史と英雄」と云う処に、
「日々起る市井の小事件ですら、翌日の新聞の報ず
るところは区々まちまちで、その真実を知ることは
困難である」

と、いい、百年も二百年も後の人の云い伝えや語り
草を資料として書かれた古い歴史などは、どの程度
まで真を伝えてくるか、大きな疑問であると映して
いる。もう四十年も以前によんだ本であつたから、
人名は記憶にないが、西欧のこれは有名な人物であ
る。或政治上(?)の嫌疑で投獄されたが、日々牢獄
の中で静座して歴史に筆を染めていた。廻が一日獄
舎の窓の前を懸然として人が通る。何事か市中に大
事件が起つたらしいが、その語り行く言葉を聞けば
一々違つてゐる。彼は愕然として驚いた。

「眼前に起つたこととさへも、人に依つてはその談
る廻が違つてゐる。俺が書いてゐる百年も千年も前

のことなど、只徒らに虚偽を並べてゐるに過ぎない
といつて、山積してゐた歴史の草稿を裂き破つて
しまつたと云うことである。俗も水野徳が名将論を

に當つて、再びかういふ感懐を新にしたものがある
と同時に、詮ずるに同じ様なことになるのを気付か
ずに記事の訂正を申込んで来るものがある。実は自
己の自己偏に陶醉してゐるのに過ぎないのである。
どう云う下らぬこととなく、もう少し歴史約
九点に自己を離れて注意が望ましい。「埋れ行く
拓人の足跡」を完成させることは私一箇の問題でな
く、大きく云えば存留民共同の義務である。

(十一)

山県の日本に於ける大体の輪廓は、これまでの記
載が知らぬことが出来たと思ふ。
山県が自ら渡伯する前に、ペルー國アンコンにい
る岩谷を派遣して、下調査を命じたことは「本邦海
外発展史」の書いた通りであるが、其の以前に彼は
もう一人の人物をブラジルに送つた、誰にも余り知
られていないことがある。
明治四〇年(一九〇七年)内田公使が着伯と前後

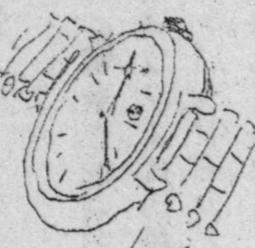
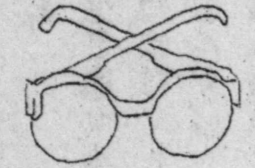
RELOJOARIA TAKATA

ナタール年末年始
の贈答用品いろいろ

卒業記念・入学・進学祝等
の贈物には高級腕巻時計が
一番よろこばれます。

眼鏡調製 コーネットレンズ

宝石・ゆびわ・耳かざり・魔法瓶
カネッタ・ガスライターいろいろ



ブレリデンテ ヴァルガ入街
ロードビアリ才前

高田時計店

電話九三番

してリオ市に上陸した一人の青年があった。慶応大早速花火職人と、誰の入習慧か知らないが、漆器製
 学理材料を卒業したと云うものもあるが、半途退学造が有望だとあって其の原料と職人を送る様に、弟
 と称する人もある。ブラジルに対する商品取引を希の定三郎に急信を飛ばした。「本邦海外発展史」の
 望する六商人から派遣されたとか、何某の連絡が有記者が「彼は日本から数名の花火及び漆器職人を連
 るとか、本人が口外しないものか、単に世間の想像れ行つた」と云うのは誤りである。此の注文に
 過ぎなかつたものか、それは知らないが、在留同胞して、職人と材料を整えてやって来たのが出口幸四
 の少なかつた時代だけに、モジアナ線にくすぶつて郎である。

一郎という青年で、実は山県に紹介する人があつて、敵は水野でなくしてフランス式の花火であつた。ブ
 ラジルに行きたいと云う。

「よかろう、ブラジルの事を委しく調査して報告し支那風のものか、付掛花火の無暗に光彩陸離たるも
 ろ」、呑み込みの早い彼の事である。予ねてより海のでなければ一般観衆の受けがわるい。勿論優秀な
 米には志もあり、杉村公使の報告や、堀口書記官の本職の花火職人が得つれなかつたと云うこともあ
 る。詩で大いに動いている矢先に、事業の方も少し左前
 うが、ブラジル人の気性が日本式な繊細な一枝素柳
 になつていたことや、何やかやと彼を動かして、ホ
 だとか、すすき、と云つたような、あつた夢見る
 如き光彩に興味を持たないということが最も重打失

水嶋は、大平善太郎型の青年で、才気も山気もあ
 敗の原因であつた。(次号へ)

リオ市ではバザール、アメリカカーナと關係を結び
 日本から商品を取り寄せたりした。ブラジルから
 フランスへ行き、レノ自動車会社の日本代理人な
 どになつた程の切れ過ぎる男であるから、どう云う
 關係の借金か知らないが、バザール、アメリカカー
 ナに余程迷惑をかけたという話を聞いた。

「うまいことづくめであつた。現在の宝の山とはブラ
 ジルのことである。宛然お伽話の様な話である。英
 雄は或点においてお伽話的である。山県が勿論基本
 的にブラジル行きを決定したのは、既述の如く杉村
 公使の報告や、堀口書記官の話によるが、裏面のこ
 ういうかくれた事實が彼を動かした真の原因かも知
 れない。

扱て山県はリオ市に上陸したが一文無しである。
 しかし、一文無しに凹垂れる様な山県ではない。早
 速テシカに陣取つて形勢を展望したが、言葉が解ら
 ないのが北海道とはこんで勝手か違つて、残念なが
 ら水島の報告したような、お伽話の宝の山が見つか
 かなかつた。

一九〇八年にリオ市に内国博覧会が開催されるこ
 とになつて来た。その頃のブラジルは日露戦争後の
 ことで日本に対し異常な好奇心を抱いていた時代で
 ある。博覧会の内の打揚げ花火を日本から取り寄せ
 たいと云う事で、これを引受けたのは山県であつた。

向しるグワナバラ湾の水波上に鏡屋、玉屋の花火
 を掲げて西国の川開きを再現しようという計画であ
 る。此の花火の請負が山県がブラジルでやつた仕事
 のイの一番だと云うことに、私は異常に興味を覚え
 る。山県は予ねて目的というよりも仕事が決つたら
 必要なもの、輸送方を打ち合せがしてあつたので

日本語放送

——アンデスの声——

毎晩 7時と8時半(30分づつ)

短波 19メータ及25メータ

(さくら-さくら)のメロデー

に始まります。

番 組

NHK 時事 ニ ス 音楽 童謡

民謡 講話 歌 外 いろいろ

バストス

福音ホーリネス教会

お墓詣り

去る一日(諸聖人の日)は朝から降つたり止んだり
 例年では朝の涼しいうちの墓参が多いのだが、
 雨のやんだ間にばつばつ墓参者があるが、墓地前
 の入口近くに本願寺の花輪売店も花輪も雨の爲に持
 の入口近く、屋根の天蓋も張つてなく、向い側の地蔵
 像の前には屋根を張り、僅かな参詣に篤信な婦人が奉仕
 しておられ、地蔵尊、不動明王の前には燈明が上り
 香煙が立ち昇つていた。

納骨堂で例年通り午前十一より先亡者追善法要が
 バストス仏教会により厳ぞかに営まれたが、此納骨
 堂は一九五一年に仏教会により建立され、今日日ま
 十一月一日午前十一時から仏教会が先望者の追悼
 法要が行われて来たのであるが、毎年お盆前に故
 霜出老と杉山老が清掃を引受け奉仕して下さつた
 が、霜出老亡き後は杉山氏一人で数年掃除してくれ

今年杉山氏が少し健康を害しているので、石橋敏子さんが代って掃除をしてくれた。
 緩氏の導師で誦経が始ったが参列者二、三名に過ぎず、今年の法要は淋しいものであった。
 二日は幸い朝から青天で、昨日まで雨降りであったため暑くもなく、終日夢地に賑わった。旧病院跡の「移民史料博物館」朝からの開館で、夕方まで賑わっていた。

バストス週報歌壇 第八回分

送者 森重扶美

信太千恵子

- 防火線切りたる地表霞いゆく牧草は朝の陽にかがよえり
- 養鶏の飛況もともに流すが朝陽は驚き音に降り出す
- 離れ建つ湯棟の窓に灯の見える浴衣姿の人う歩めり
- ゆきとどく乱慮にひと曰くつろげりキロンボの湯に遠く来たりにて
- げあぢやんと蒸いて後を追う孫も寝に就く時は母を恋い出す
土井はやし
- 損繁に盗難の時つたわれれば外燈あまた点して寝につく
- 霜後の柔園みどりに顔えたちと掃立五キ口の雅蚕前忙し
- 首上げて恐怖のさまに蚕うはからだ揉みあつ計量器の上に
- 降寝に弾痕のごと穴あきし西瓜畑に冷えころがれり
- 土匂う掌をば重ねて華やかな歌手らの歌うを聞きつつ酔えり
貝田久子
- 観光のバスに揺られてキロンボに向う道辺の樹海の黒し
- 溢れ出る泉の水の豊かさよ池のアヒルの群も湧かびて
- 旅天を交わしながら湯泉に没たる日頃の疲れ既に忘れて
- 終日を騒音一つたすして静かに暮るるキロンボの里
- 霜害に穢失ないし芳務者の故郷に帰ると聞くは痛まし
浦川つばみ
- 真白なる湯ぶねに満てる淡紺色の湯に浸りいるキロンボに来て

SUL AMÉRICA CAPITALIZAÇÃO S/A.
 Resultado do sorteio do mês de OUTUBRO de 1975.
 CYR -- ZBK -- VRG --
 NAM -- RAA -- USA.
 Próximo sorteio dia 28/11/75
スルアメリカ カピタリザンソ S/A
 十月の抽籤による当籤の組合せ文字は上記の通りです。尚十一月の抽籤は来る十一月二十八日です。
 ハストス代理人 アルゲルド バスカクリス

敬 弔
 此の度貴父上様御死去なさいまして、謹んで哀悼の意を表しますと共に、供養の爲金一封あての御懇志正に拝受厚く御礼申し上げます
 バストス南米本願寺 会計
 藤井三小様 仏教婦人会 会計

○親しきと湯泉に情を流し合う故郷の混浴湯にのせて
 ○湯の里に同県の方々と語り寝て浮世のことはしはし忘るる
 ○早朝に太き煙りが垂直に昇るが見ゆる広き青空
 ○湯煙りゆくもりし鏡ふき清まむ又逢うまでの笑顔残して
 以上

松原雅春氏自宅にて 法律会計事務所並びに 建築設計事務所開業!!

昨四日所用が有て外出の帰り松原氏の前を通りかかり、ふと松原邸を見ると、どうやら外見が変わっているの、ハテナ、こりや家を間違えたかと、きよろさよろ見渡したが、松原邸に間違いない。さては家を改造したか、と気付いて見ると、事務所風の受付けらしい部屋の扉が開かれてあり、受付嬢らしい女の子が事務机に向い会っている客と応対しているのが見える。
 松原氏の母と私は同県人であり親しい間柄だが、老人性白内障とかで、その治療に上聖したということと聞いていたので、帰って来たか、どうか、もし帰って来ていたら見舞いの言葉をかけて中こうと思つて、入って行くと、受付嬢(???)と思われる娘さんが、大事な客人と間違ったか、丁重な日本語で、「どうぞお通り下さい」と奥まった一室へ案内して

くれた。此の室もやはり事務所として、大きな事務所の向う側に松原氏が椅子に掛け、向い側で娘さんが掛けて居り、何か相談中であつたらしい。母室はまた聖市に滞在中の様子であつた。家の改造した理由を訊いてみた。う。

「俺なあぢいさん、事務所開けるんだよ。」
「という返事だ。」
「一体何の事務所だ、……？」
「弁護士事務所、つまり法律事務所と商業会計事務所、建築設計、製図、家を建てる時には職人とか建築材料購入、工事遂行までお世話するという仕事なんだ。」
「そりゃ結構な話しやが、えらい忙しいな。そんなに手が廻わるのか。」

「それがぢいさん、それそれ専門家が居るんだよ。ぢいさんの前に居るのが坂東さんの娘さんで、会計士の卵、いまツパンの経理大在学中で、うちの仕事をしてくれるよになつたんだ。」

この頃へ来た青年が、小林春夫さんの息子で、これは公認の製図士なんだ、外に弁護士、インジネーロも協力をしてくれることになつたよ。」

「そんならぢいさん米代様どの広告を書かしてくれ」ところが、ぢいさん、また金がないから、広告の代りに千ヨークン記事書いてくれや。金が入るようになったら、その時は広告を頼むから。」
「なあーんだ、金のとれん広告か、事務所の名前は何と書くんだ」と聞いたら、書いてくれた。

PROJETOS E CONSTRUÇÕES
LEVANTAMENT TOPOGRAFICO
DESENHO EM GERAL
ADVOCACIA AUDITORIA
REPRESENTAÇÃO EM GERAL
Rua. Oswaldo Cruz: 894 - Fone 1-454, Res. 376

Nelson Massaki Kobayashi (Desenhista, Projetista)
Neusa Satiko Bandó (Contadora e Estetista)
Mitsuharu Matsubara (Advogado e Economista)
Dr. Hilton Buller de Almeida (Advogado)
Dr. Orlando Pagliuso (Engenheiro Civil)
Tomoji Seino (Topografo)

右が商売の内容と、従業員の氏名だが、すいぶん多勢集まつたものだ。こんなことを言つたら松原氏に叱られるかも知れんが、法律事務所も会計事務所もすでに何軒もある。しかし建築事務所は、どうしても必要であつた。仮りに家を建てようと思つても、設計、製図、届出の願書、材料の仕入とか、請負師は誰が正直だろうか、請負金額の交渉などとなかなか容易な仕事でない。それを家の間取りと予算だけ提出すれば、それで、すべてへ地ならしから出来上るまで世話してくれる所があれば便利にろがない。アッ、とうとう只で広告書かされたか。

感謝と御礼

通称メレンダと呼ばれるブラジル全国の運動が日々隆盛となり、一九七〇年度トロフェウ・ロシリスアルダ、ソンプラガ、十七郡統轄の、ジョナル、アダマンチーナに設けられ、七一年度バストスが最高位となり、七二、七三年度がイスピアで、七四、七五年がバストスに復活し、通算三年最高位にて、バストスがトロフェウ永く獲得の栄を得ました。

去る十月十六日午後四時、バストス総合会館に於いて、多数の関係者出席のもとに受賞式が盛大に挙行されました。
その席上に於てバストス市役所、並びに私共が絶讃の褒めことばを戴き、終生忘れ得ぬ感激をうけました。

これひとえに永年にわたり御支援を戴きました皆様方の御厚情の賜と、厚く感謝する次第であります。
尚、トロフェウは、市長室に飾られてあります。が、今後もバストスの栄光のために一層の支援を願ひ上げます。

バストス市長 山 中 安 彦
オシエドロー 柴 田 力 十
バストス在住
各 位 様

お願い

年賀広告の件

新年特集号の年賀広告は当方からお願ひにお伺い致すべき処、何分人手がないので参考致しかねますので、勝手乍ら電話で御申入れ戴ければ有難いと存じます。尚今月二十日までに御願ひ致したく存じます

バストス週報社
電話三四〇番

私のおかずは50種類の木の葉です(一)

東京、江戸川区に住む平井小糸さん(59)の家の食事はチョップリ交っている。食事には、白いご飯も肉料理もない。ある日のメニューはこんなぐあい。栗餅三枚、目刺四本、ガンモドキ一枚、ラッキョ五個、豆少々、レモン牛か、シソの葉二枚、柿の葉三枚。そして、デザートには食卓の上に置かれたヒマラヤ杉の葉。それを指さつまんで、さもおいしそうに食べる。

「私の家では、何の加工もされていない、自然のままの木の葉を食事のたびに必ず食らうんですよ」と、まるで仙人みたい。それとも、よっぽど苦しい生活をしているのかしら。いえ、ご主人の秀次郎さん(62)は、さる会社の役員、平井家は一般家庭よりはるかに裕福な家庭なのです。

そんな豊かな家が、なぜ木の葉なんか食べるの？前総理夫人、佐藤寛子さんによく似た小糸さんが話してくれました。

「木の葉で命を救われたんです。話は八年前にさかのぼる。いまは体重54キロ、すわりとした小糸さんだが、当時は80キロもあるおデブさん。分厚いビフテキを毎日のように食べる美食家だった。

御案内

生長の家講演会

パン市光明寮園主

高保義元先生

をお迎えして久しぶりに
素晴らしいお話を聞きましょう

期日 十一月十七日

午後八時

場所 生長の家会館

REALIZAR-SE Á NO DIA 17-11 ÀS 20 HORAS NO SALÃO DA SEICHO NO IE A CONFERENCIA COM O PROFESSOR YOSHIMOTO TAKAYASSU

ところが、美食がたたったのか、この頃小糸さんは糖尿病、高血圧、腎臓炎、肝臓炎など、ありとあらゆる成人病に冒されていたのである。医者からも全治の見込みなしと見放されたほど。「人生に絶望して自殺も考えました」そんなある日、ボンマリと庭先きにたたくずんてい小糸さんは、庭の柿の新芽にアリが群がって食べられているのを目をとめた。「何気なく私をつまんでみたんです。青い葉を食べたのに口の中はオレンジ色。神秘的魔力のよつなものを食べたんです。」 以下次号へ

害見舞の御礼

去る十月七日の大降雹の礫り私方も同様被害を蒙りました所、早速御丁寧なる御見舞を戴き誠にありがとうございました。遅延ながら紙上を以って厚く御礼を申し上げます。

弓削 隆 美

プラタク製糸株式会社 様
バストス産業組合 様

バストス日伯文化協会会報欄

文化協会行事及総合会館使用日程表

- 十一月一日 〓 州立高校ショー サロン
- 〓 三日 〓 文協理事 会 会議室
- 〓 八日 〓 生長の家演芸会 サロン
- 〓 十日 〓 中央区役員会 会議室
- 〓 十一日 〓 シンジカドルール 会議室
- 〓 十五日 〓 ACM Bバイレー サロン
- 〓 二十日 〓 結婚披露宴竹内家長男 サロン
- 十一月五日 現在

バストス日伯文化協会



CAIADO PNEUS S.A.

Praca da Bandeira 37 Fone 2103 TUPÃ S.P.
PNEUS. CÂMARAS. ENGERADOS, RODAS, ACESSORIOS

好条件販売

ペネウス
カマラス
エンセラードス
ローダス
アッセンソリオス等
フラーソで、しかも無利
子にて差上げます。
其の他好条件の奉仕販売

ツパン市プラッサダパンテイラ
三七番
S.A. カイダプネウス
ツパン市電話二一〇三番

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Ad. Barros 213 Fone: 154

ナタイル年末の贈答品
年始卒業入学進学
のお祝、記念の贈り物
続々入荷

テレビコロイド
ステレオグラブドル
腕巻懐中時計一切
小型電算機各種
色々珍しい物が入荷して
おります。ご覧においで下さい

ルアマテマルデパロス二一三番地
レロジョアリア タカミ
柴田時計店
電話一五四番

Aviso de Cine Bastos

十一月九日(金)九時半 十日(月)八時 監督 篠田隆司
東映 忘八 伊吹五郎 中井ふさ
総天 城恵美 池玲子
然色 武造 栗原らみ 桂川圭子

十一月十一日(火) 十二日(水) 両夜とも八時
東映 お頼み
総天 藤純 子主演
然色 申子

十一月十四日(金)八時 十五日(土)九時半、監督 岩井克巳
東宝 若大将対青大将 加山雄三 吉沢京子
総天 大矢茂 蘇るみ子
然色 田中邦衛 酒井和歌子

十一月十六日(日)九時半 十七日(月)八時
東映 秘セックス恐怖症 賀川雪絵 桑原幸子
総天 橋ますみ 八代万智子
然色 橋ますみ 吉田輝雄

十一月十八日(火) 十九日(水) 両夜とも八時
東映 暴れ団再武装 待田京介 渡瀬恒彦
総天 待田京介 津島嘉子 津島嘉子
然色 待田京介 津島嘉子 津島嘉子

十一月二十一日(土) 二十二日(日) 九時半 前田陽一監督
松竹 日本列島震度零 フランキー堺 灰田勝彦
総天 鳥居恵子 鳥居恵子
然色 鳥居恵子 鳥居恵子

美人のために死ぬるか、今迄夢中にある人に、愛を知るとする人か、一つの決心を述べる。